

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-34703

(43) 公開日 平成7年(1995)6月27日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 3 B 13/14	Z			
13/42	1 0 1			

25

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願平5-66489

(22) 出願日 平成5年(1993)12月14日

(71) 出願人 000000310

株式会社アシックス

兵庫県神戸市中央区港島中町7丁目1番1

(72) 考案者 井ノ原 正信

兵庫県明石市魚住町西岡2536-12

(72) 考案者 片山 昭三郎

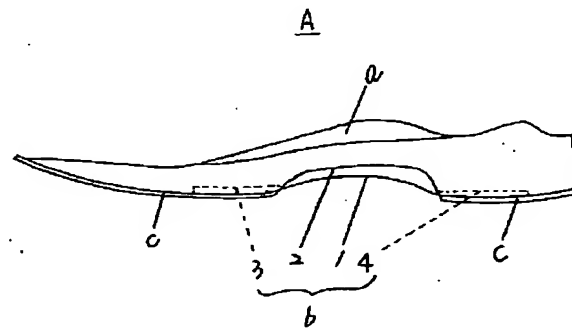
兵庫県加古川市平岡町土山421-154

(54) 【考案の名称】 運動靴底

(57) 【要約】

【目的】従来の運動靴の主として靴底の欠陥を克服して軽快性に富みかつ容易に変形しないのみならず、反撥性のよい運動靴底を提供することを目的とする。

【構成】本考案の運動靴底Aは、そのミッドソールaの下面側における少なくとも不踏部辺に薄いが捲き上げ縁2、2及び凹凸5状を形成しかつ透明若しくは透明度が高く更に少なくとも前記ミッドソールaよりも反撥弾性に富むシャンク部品bを接着剤を介しカラーチップを挟着結合形成する。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 比較的柔軟でかつ緩衝性のよいミッドソールaの下面側における主として不踏部辺に前記ミッドソールaより反撥性及び耐屈曲性のよいシャンク部品を結合し、同じくその下面側の前部辺及び後部辺に前記ミッドソールaより耐摩耗性及び強靱な接地底C、Cを結合するものであって、前記シャンク部品bは比較的薄くかつ透明若しくは透明度が高く、その主体部辺1の両側に捲き上げ縁2、2及びその前方の延長部辺3と後方延長部辺の一部若しくは全部に凹凸5状を形成し、前記ミッドソールaとシャンク部品bの間に接着剤を介してカラーチップを挟着結合せしめたことを特徴とする運動靴底A。

【請求項2】 前記カラーチップは、パウダー状のもの、角張ったもの、球状のもの、短柵状のもの若しくはその他の任意形状の熱可塑性合成樹脂若しくは金属の微小体なることを特徴とする、請求項1に記載の運動靴底A。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の運動靴底の接地面側を示す平面略図である。

【図2】 同じく、その外側面側からみた側面略図であ*

＊る。

【図3】 同じく、その主要部であるシャンク部品の接地面側を示す平面略図である。

【図4】 図3で示すシャンク部品のX-X線に沿う縦断面略図である。

【図5】 同じく、図3で示すシャンク部品のY-Y線に沿う横断面略図である。

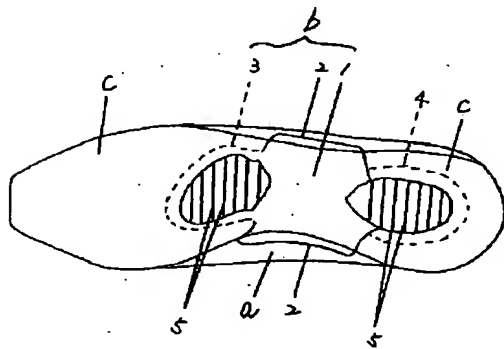
【図6】 同じく、他の要部であるミッドソールの下面側を示す平面略図である。

【図7】 同じく、図6で示すミッドソールのZ-Z線に沿う縦断面略図である。

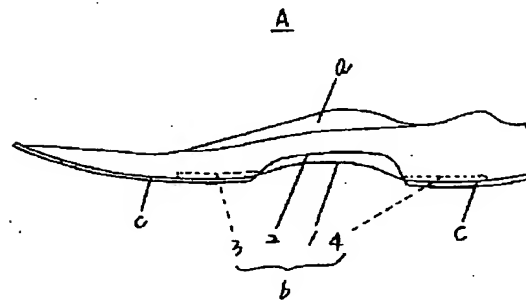
【符号の説明】

- A 運動靴底
- a ミッドソール
- b シャンク部品
- C 接地底
- 1 シャンク部品の主体部辺
- 2 シャンク部品の捲き上げ縁
- 3 シャンク部品の前方の延長部辺
- 4 シャンク部品の後方の延長部辺
- 5 凹凸

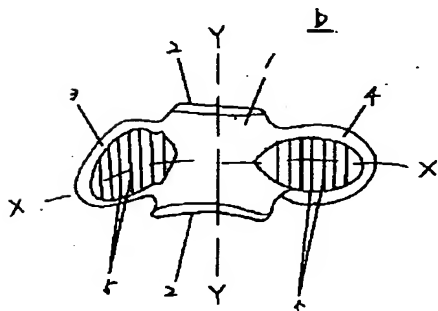
【図1】



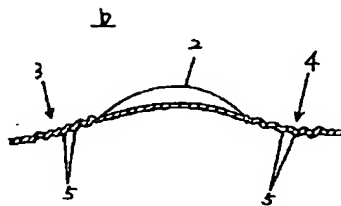
【図2】



【図3】



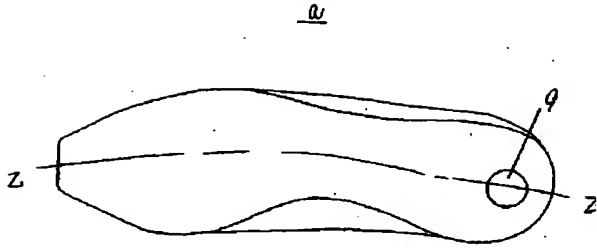
【図4】



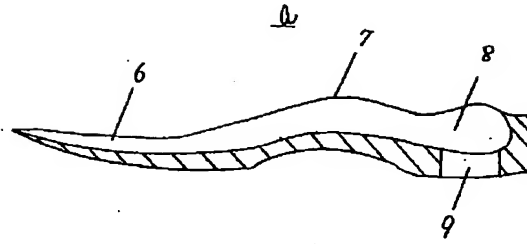
【図5】



【図6】



【図7】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は主としてランニング、ジョギング、トレーニング等に用いる運動靴に装着される、ミッドソール及びシャンクを備えた運動靴底の改良に関するものである。

【0002】**【従来技術】**

従来の運動靴として軽量なものとしてミッドソールの下面側における主として不踏部辺を除き前部踏付部辺及び踵踏付部辺にのみ接地面底を接合した靴底を備えたものが提供されているが、該運動靴は靴着用者が着用して歩行或いはランニングしたとき靴底が変形し易く、従って靴着用者に疲労をもたらし易かった。このため靴底が変形しないように比較的厚くかつ硬度の大きいシャンクを前記運動靴底のミッドソールの下面側における前踏部及び踵踏付部の各接地底の中間の不踏部に結合されたものが提供されていた。

【0003】

然しながら後者の靴底の不踏部にシャンク付の運動靴は重量を増大して軽快性を欠くのみならず、反撥弾性に乏しいので靴着用者のキック力を助長し難い欠陥があった。

【0004】**【考案が解決しようとする課題】**

本考案は前述の従来の運動靴の主として靴底の欠陥を克服して軽快性に富みかつ容易に変形しないのみならず反撥性もよくかつ外觀体裁をもよくした運動靴底を提供するものである。

【0005】**【問題を解決するための手段】**

本考案は前述の課題を解決するために、前記シャンク部品 b は比較的薄くかつ透明度が高く、その主体部辺 1 の両側に捲き上げ縁 2、2 及びその前方の延長部辺 3 と後方延長部辺の一部もしくは全部に凹凸 5 状を形成し、前記ミッドソール

aとシャンク部品bの間に接着剤を介してカラーチップを挟着結合形成することを新規な手段とする。

【0006】

【作用】

本考案の運動靴底Aは、そのミッドソールaの下面側における少なくともその不踏部辺に、薄いとその一部に凹凸状を形成しかつ両側に捲き上げ縁2、2を形成しているので、シャンク部品を容易に変形せしめない。

また、該シャンク部品は少なくとも前記運動靴のミッドソールaより反撥弾性に富み靴着用者の足のキック力を助長せしめている。

前記ミッドソールと透明度の高いシャンク部品との間に接着剤を介してカラーチップを挟着結合している。

【0007】

【実施例】

本考案に係る運動靴底Aを図面に示す実施例に従ってその代表的な実施例を説明すると以下の通りである。即ち本考案の運動靴底Aは図1及び図2等で示すように、ミッドソールaと接地底C、C及びシャンク部品bとから構成されている。前記シャンク部品b前記ミッドソールaの下面側の主として不踏部辺に結合され、同じく前記ミッドソールaの下面側の前記不踏部辺を除く前部辺と後部辺に接地底CとCが結合されている。前記ミッドソールaは、図6及び図7で示すように比較的軽量で緩衝性のよい軟質の発泡体、例えばEVA樹脂発泡体で形成されている。同じく前記シャンク部品bは比較的薄く従って前記接地底C、Cよりも軽量でありかつ前記EVA樹脂発泡体でなるミッドソールaより反撥弾性のよい熱可塑性合成樹脂例えばポリウレタン樹脂、ソリッドのEVA樹脂若しくはウレタンエラストマー（商品名：クラミロン）等が用いられる。

前記シャンク部品bは図4及び図5等で示すように比較的反撥性のよいものを用いるが、その主体部辺1の両側縁に捲き上げ縁2、2を形成したり、或いは、その一部例えば前部辺3及び後部辺4に多数の凹凸5状を形成してその強度及び反撥性を助長せしめている。

前記接地底C、Cは前記ミッドソール3よりも耐摩耗性及び耐屈曲性の良好な天

然ゴム、合成ゴムまたはこれらの混用物のソリッド状のものをを用いればよいが合成ゴム例えばクロロプレンのものが好ましい。

前記シャンク部品 b は、前記ミッドソール a との間で接着剤を介してカラーチップを介在して前記ミッドソール a の下面側の主として不踏部辺に結合している。

前記カラーチップはパウダー状のもの角張ったもの、球状のもの、短冊状のものその他の任意形状の熱可塑性樹脂若しくは金属の微小物体であればよい。また前記ミッドソール a とシャンク部品 b の対応面にそれぞれ所望の接着剤を付着せしめる場合予め前記接着剤のそれぞれの付着面を溶剤の塗布等により表面処理して前記接着剤の接着力を強化せしめることが望ましい。

また前記シャンク部品 b は図 1 及び図 2 で示すようにその前部辺 3 及び後部辺 4 の一部を前記ミッドソール a と前部の一部及び後部の一部で挟着されているので、前記ミッドソール a に強固に固着されていることになる。

その他符号 6 は前記ミッドソール a の前部辺、7 は同じくアーチサポーター 1 部、符号 8 は踵部であり、符号 9 は非弾性的に変形をする緩衝部剤等（図示せず）の嵌め込み透孔若しくは不透孔である。

【0008】

【考案の効果】

本考案の運動靴底 A は、これを用いた運動靴において、薄いとその一部に凹凸状 5、5 及び主体部辺の両側に捲き上縁 2、2 を形成しているので軽量であるが耐屈曲性がよくかつ反撥性に富むので長期の使用に耐えかつ靴着用者のキック力を助長してランニングスピードの向上に寄与できる。透明または透明度の高いシャンク部品 b 上に介在したカラチップにより外觀形状を良好にすると共に単一色のシャンクに比べて軽快性を一層深めることと相まって商品価値を向上できる。